

事例 6

「男女共同参画社会の実現をめざす教育の実践に向けて」を活用した事例

校 種	中学校	学 年	1 年
テーマ	男女の理解		
領 域	道徳		
ねらい	○ 性別にこだわらない自分らしい生き方について考え、性別による固定的な役割分担意識や偏見に気づき、解消していこうとする。		
<p>【学習展開（概要）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 クラスで男女が協力できていることと、できていないことを考え、発表する。 2 「女らしい」「男らしい」とは、どういうことかをまとめ、発表する。 3 今まで、「男だから～しなさい」とか「女だから～しなさい」と言われたり、聞いたことがあるか、そのことやそのときの気持ちについて考える。 4 ワークシート「男女の理解」を活用し、自分の意識を確認する。 5 班ごとに話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような傾向にあるか ・ 気づいたこと など 6 本時を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ これからの生活でどういうことに気をつけていけばいいか ・ 授業の感想 など 			
<p>【工夫・配慮点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活を振り返り、男女間の役割分担について考えさせる。 ○ 自分として「男らしさ」「女らしさ」という意識がどういうものかをまとめさせる。 ○ 今までの経験を振り返り、男女の差について見聞きしたこと、そのときの気持ちを中心に考えさせる。 ○ 自分の考えを整理しやすくするために、ワークシートを活用する。 ○ 互いの意見を確認し、班の意見をまとめさせたり、その意見を板書させたりしながら、各自の考えを比較したり、整理したりして、発表させる。 ○ 男女で区別することなく、互いに協力し合うことが大切であることに気づかせる。 			
成 果	○ 生徒相互の話し合いを中心に展開したことにより、率直な意見交換ができた。また、授業後の感想の中に「仕事や家事に関して、男女の区別は必要なく、協力することが一番大切である」や「男・女関係なくいろいろなことに挑戦していきたい」というような前向きな意見が多く出た。		
課 題	● どうしても教師や親など大人の価値観を押しつけがちになるため、生徒一人一人の経験や思い、気づきを大切にすることが重要である。そのためにも資料の提示の仕方や話し合いの場や雰囲気づくりの工夫が必要である。		

